

令和6年11月14日(木)

西可児中学校

2年生学年通信 第5号

学年主任 青木裕介

結ぶ つなげる

2年生生徒のみなさん、保護者の皆様

一人ひとりが学んだ「働く」ことの意味 -職業体験学習-

職業体験を終えました。

中学校では、この2年生でしか体験できないものですし、人生の中でもこのような体験ができることはなかなかないものです。職業体験中の皆さんの姿を学年の先生で巡回して見て行きましたが、どの事業所でも真剣に担当の方のお話をよく聞き、仕事にまっすぐ向かっていく姿勢がありました。その姿勢からは、職業について学ぼうという意欲や働くことの意味について考えようという気持ちが感じられました。自分が設定した学習の課題に対して、質問などもさせていただきながら考えをもてたことと思います。今回の職業体験で学んだこと、考えたことを職業体験レポートにまとめています。そのレポートやこれまでの進路学習をもとにして、自分が得たものをまとめて発信することで、自分の進路選択・進路実現、生き方について考えを深めていけるとよいと思います。総合的な学習の時間では、この学習の「まとめ」と「発信」を今後行っていくので、ぜひ、3年生に向かう自分に生かせる学習にしてください。今回の職業体験のまとめとして書いたものから、2名の仲間のものをご紹介します。

【保育・教育関係の事業所で体験した生徒】

2日間という短い期間でたくさん教わることができ、大変うれしかったです。先生方が子どもと関わるところを見て、少人数だけに目を向けるのではなく、全体を常に見て状況判断をされている姿、笑顔で優しく接している姿、子どもたちの安全面や未来を見すえて時に厳しくされている姿があり、そこには先生方の優しさが表れていて、学ぶことができました。子どもたちと関わる中で苦労もありましたが、**ぼく自身やりがいを見つけることができてよかったです。**(一部、抜粋)

【介護・医療関係の事業所で体験した生徒】

一番心に残ったのは、車いすについて教えていただいたことです。平らな道では押して進むのは簡単だったけど、スピードが速いと乗っている利用者の方が怖い思いをしてしまうし、少しの段差でも振動が大きくなってしまい、押すことが難しかったです。でも、**大変だからこそ、やりがいを感じられて、とても貴重な体験**になりました。(一部、抜粋)

また、今回の職業体験では、事業所の方々の多大なご厚意とご協力を得て、今回の体験をさせていただきました。地域社会やわが国の将来を担う生徒の皆さんのために、事業所の方々は受け入れてくださいました。大変お忙しい中、お時間をとってくださり、体験をさせていただきました事業所の関係の方々への感謝の気持ちを一人ひとりが御礼状に書き表すことに今、取り組んでいます。自分が学べたこと、考えたことをふまえながら、事業所の方々へ感謝の気持ちを伝えていきたいと思います。

保護者の皆様へのお礼

保護者の皆様には、職業体験学習の実施につきまして、多くのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、生徒たちにとって有意義な時間となり、自身の進路や生き方を考えていく上で貴重な体験とすることができました。ありがとうございました。今後とも、よろしくお願い致します。

【裏面にも、体験のようすを掲載しています。】



